

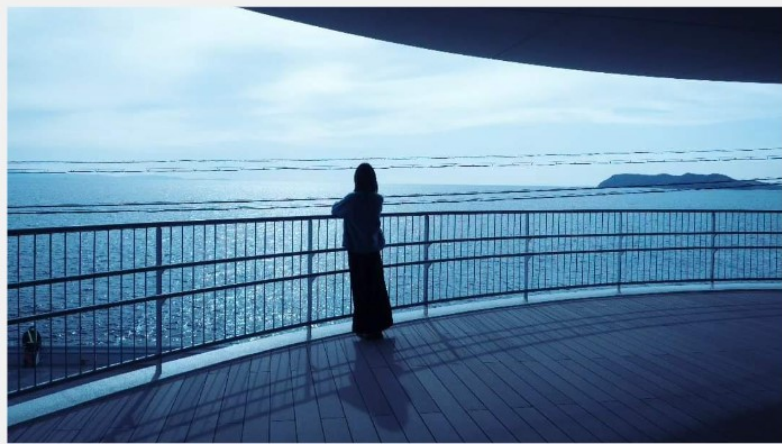


令和6年度
南あわじ市 **2024**
事業概要説明書



1万円単位の予算

施策概要・事業費・財源を
写真付きで分かりやすく解説



～ 目 次 ～

令和6年度 重点事業

P. 6～P. 8

第1章

超高齢社会の克服

16 事業 P. 10～P. 15

第2章

子育て環境の向上と教育の充実

35 事業 P. 18～P. 29

第3章

地域の資源を活かした地元産業の活性化

49 事業 P. 32～P. 48

第4章

安全・安心のまちづくり

18 事業 P. 50～P. 55

第5章

「対話と行動の行政」の実現によるまちづくり

8事業 P. 58～P. 60

【参考】物価高騰対策事業

P. 62～P. 63

※本来市の予算は千円単位で記載していますが、事業概要説明書では分かりやすくするため、1万円単位で掲載しています。
また、予算書の節と名称が異なるものもあります。前年度予算については、令和5年度当初予算の金額を記載しています。

※各事業の「財源内訳」欄中、「ふるさとまちづくり基金」「子ども未来基金」「学ぶ楽しさ日本一基金」については、これまでに南あわじ市に寄附されたふるさと納税（ふるさと南あわじ応援寄附金）を原資としていますが「ふるさとまちづくり基金」については、一部ふるさと納税以外の原資が含まれています。

※本説明書に記載されている担当課及び電話番号は令和5年度のものです。

SDGs(持続可能な開発目標)とは

SDGsとは、「Sustainable Development Goals」の略であり、平成27(2015)年9月の国連サミットにおいて全会一致で採択された国際社会の共通目標です。「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現に向けて、「令和12(2030年)」を年限とする17のゴールと169のターゲットから構成されます。

法的拘束力はありませんが、先進国・開発途上国を問わず、あらゆる人や事業者が参画し、経済・社会・環境をめぐる広範な課題に統合的に取り組むことが示されています。

アイコンの記載について

事業概要説明書では、以下に示すSDGsアイコンのうち該当するアイコンを10ページ以降にそれぞれ表示しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



令和6年度 重点事業

政策の柱である「五つの行動」の中でも「担い手確保と移住・定住施策の一体的な推進」、
「大阪・関西万博を契機にした観光振興」、「地域社会とつくる魅力ある子育て環境」に
重点的に取り組みます。

(1) 担い手確保と移住・定住施策の一体的な推進

令和6年度事業費：3億440万円

福祉や保育分野などの人材不足、一次産業や観光産業をはじめとする担い手や後継者不足、若者のUJIターン支援、移住者等の住宅確保などを、一体的に関連付け、戦略的に移住・定住施策に取り組みます。

<担い手確保と若者支援>

- ・奨学金等返済支援事業
事業費：1,300万円（掲載P. 43 事業番号 36）
- ・介護・看護人材確保対策事業
事業費：790万円（掲載P. 42 事業番号 32）
- ・新規就農総合対策事業
事業費：1,960万円（掲載P. 42 事業番号 33）
- ・産業活力アップ起業支援事業
事業費：6,000万円（掲載P. 41 事業番号 30）
- ・若者ふるさと応援便事業
事業費：790万円（掲載P. 44 事業番号 38）
- ・保育士確保対策事業
事業費：290万円（掲載P. 29 事業番号 35）
- ・水産業就業体験事業
事業費：50万円（掲載P. 43 事業番号 34）

<移住定住支援>

- ・マイホーム取得事業
事業費：5,000万円（掲載P. 46 事業番号 44）
- ・多世代同居・近居支援事業
事業費：3,000万円（掲載P. 47 事業番号 46）
- ・移住支援事業
事業費：3,160万円（掲載P. 46 事業番号 45）
- ・結婚新生活支援、新婚世帯家賃補助事業 等
事業費：2,710万円（掲載P. 47-48 事業番号 47-49）

<住宅確保のための空家活用と住環境調査>

- ・空家確保支援事業
事業費：220万円（掲載P. 45 事業番号 40）
- ・空家再生支援事業
事業費：2,000万円（掲載P. 45 事業番号 41）
- ・住生活基本計画策定事業
事業費：770万円（掲載P. 46 事業番号 43）
- ・空家活用支援事業
事業費：2,000万円（掲載P. 45 事業番号 40）
- ・社宅改修事業
事業費：400万円（掲載P. 45 事業番号 41）



(2)大阪・関西万博を契機にした観光振興

令和6年度事業費:26億5,078万円

大阪・関西万博の機会を最大限に活用するため、さまざまな誘客コンテンツを整備し、国内外を含めた広域的な視点で観光客誘致に取り組みます。インバウンド受入環境整備や観光施設リニューアルによって、観光客の受入体制の強化、道路橋梁の補修、改修や河川や排水路の維持などインフラ環境整備を実施します。

<広域的な観光振興>

- ・大阪・関西万博関連誘客促進事業
事業費:5,683万円（掲載P. 39 事業番号 24）
- ・淡路島総合観光戦略による観光客誘致
事業費:2,397万円（掲載P. 39 事業番号 22）
- ・徳島空港線バス実証運行事業
事業費:3,500万円（掲載P. 38 事業番号 21）
- ・オーバーツーリズム対策事業
事業費:1,050万円（掲載P. 39 事業番号 23）

<受入体制の強化>

- ・インバウンド受入環境整備事業
事業費:400万円（掲載P. 39 事業番号 24）
- ・大鳴門橋周辺環境整備事業
事業費:13億4,130万円（掲載P. 40 事業番号 26）
- ・灘黒岩水仙郷管理運営事業
事業費:1億3,838万円（掲載P. 40 事業番号 27）
- ・泉源開発事業
事業費:1億2,300万円（掲載P. 38 事業番号 20）

<インフラ環境整備>

- ・道路橋梁維持事業
事業費:3億7,950万円（掲載P. 52 事業番号 7）
（債務負担行為6,250万円含む）
- ・道路新設改良事業
事業費:4億6,830万円（掲載P. 52 事業番号 8）
- ・河川維持事業
事業費:7,000万円（掲載P. 52 事業番号 9）



(3) 地域社会とつくる魅力ある子育て環境

令和6年度事業費:5億4,317万円

安心できる出産・子育て環境を提供するため、出産支援や出産祝金の拡充に加え、平日一時預かり事業、休日保育事業により、多様なライフスタイルを応援します。また多様化する学びの支援や、小中学校施設の改修に取り組み魅力的な学びの場を提供します。

<安心できる出産・子育て環境>

- ・出産祝金の支給
事業費:2,500万円（掲載P. 24 事業番号 21）
- ・出産支援事業
事業費:2,410万円（掲載P. 24 事業番号 20）
- ・平日一時預かり事業
事業費:350万円（掲載P. 18 事業番号 1）
- ・休日保育事業
事業費:400万円（掲載P. 18 事業番号 2）
- ・男女共同参画推進事業
事業費:399万円（掲載P. 22 事業番号 15）
- ・公園整備事業
事業費:2,570万円（掲載P. 29 事業番号 34）

<魅力的な学びの場>

- ・学ぶ楽しさ支援センター運営事業
事業費:9,515万円（掲載P. 19 事業番号 5）
- ・小中学校施設改修事業
事業費:2億8,080万円
（掲載P. 20-21 事業番号 9-10）
- ・沼島地域教育環境改善事業
事業費:580万円（掲載P. 21 事業番号 11）
- ・文化・スポーツ担い手強化応援事業
事業費:300万円（掲載P. 28 事業番号 32）

<通学路の安全・安心>

- ・通学路の安全確保
事業費:4,160万円（掲載P. 53 事業番号 10）
- ・交通安全啓発事業
事業費:1,251万円（掲載P. 53 事業番号 11）
- ・交通安全施設等の充実
事業費:1,802万円（掲載P. 53 事業番号 12）



第1章

超高齢社会の克服

高齢者等元気活躍推進事業



担 市民協働課0799-43-5244

1

R6年度事業費 740万円

昨年度予算額 1,260万円

「人生100年時代」を迎え、シニア世代の方々が仕事や子育てで培った能力や経験を生かし、誇りを持って社会を支える側として活躍する「生涯活躍社会」の実現を目指しています。

特に人手不足で悩む施設での活動をポイント化した「おもしろポイント制度」と高齢者の働きやすい環境整備を進める「働くシニア応援プロジェクト」を推進します。

主な経費

シニア雇用創出支援委託料 380万円

おもしろポイント料 80万円

財源内訳

県支出金 228万円

おもしろポイント原資 80万円

ふるさとまちづくり基金 432万円



高齢者補聴器購入補助事業



担 長寿・保険課0799-43-5260

2

R6年度事業費 200万円

昨年度予算額 0万円

加齢による難聴で意思疎通がしづらくなると、生活の質の低下やフレイル、認知症のリスクが高まるとされていることから、聴力低下へ早期に対応するため、難聴により生活に支障が生じている高齢者に対し、補聴器購入費用の一部を助成します。

主な経費

高齢者補聴器購入補助金 200万円

財源内訳

介護保険特別会計保険事業勘定繰入金 200万円



健康づくり事業（町ぐるみ健診等）



担 健康課0799-43-5218

3

R6年度事業費 9,760万円

昨年度予算額 10,912万円

心臓病や脳卒中などの生活習慣病を予防するため、健診による早期発見、正しい健康管理について保健指導や各種がん検診等を実施し、健康長寿社会の実現のため、フレイルチェックを実施します。また、加入する健康保険において人間ドックの助成制度のない40歳以上の市民を対象に人間ドック受診費用の助成を行います。

主な経費

町ぐるみ健診委託料 8,500万円

看護師等報償費 330万円

人間ドック受診補助金 30万円

財源内訳

市一般財源 6,500万円

国庫支出金 76万円 / 県支出金 187万円

町ぐるみ健診個人負担金等 2,997万円



高齢者の保健事業と 介護予防の一体的実施事業



担 長寿・保険課0799-43-5260

4

R6年度事業費 1,481万円
昨年度予算額 1,141万円

高齢者の抱える多種多様な健康課題に対応するため、高齢者宅やいきいき百歳体操などの通いの場へ栄養士、保健師が訪問して保健指導を行うなど、保健事業と介護予防を一体的に実施します。また、歯科衛生士が関わることで、オーラルフレイルを予防し、口腔の健康を維持・向上させ、栄養をしっかり口から摂ること、食べる楽しみ、社会とのつながりを通じて、高齢者の健康増進、健康寿命の延伸を図ります。

主な経費

職員人件費 1,377万円
保健師等報償費 70万円

財源内訳

高齢者保健事業・介護予防一体的実施業務委託金
1,481万円



予防接種事業



担 健康課0799-43-5218

5

R6年度事業費 1億3,355万円
昨年度予算額 1億1,046万円

BCGや五種混合、麻しん風しん、小児肺炎球菌予防接種など、予防接種法で定められた定期接種を実施します。一定の年齢で接種を受けることが望ましいとされていることから、子どもの定期予防接種は無料です。

また、高齢者のインフルエンザ予防接種や新型コロナウイルス予防接種については、費用の一部を助成します。

主な経費

定期予防接種費(小児用肺炎球菌等) 7,100万円
高齢者インフルエンザ予防接種費 2,800万円
新型コロナウイルス予防接種費 3,000万円

財源内訳

市一般財源 1億3,350万円
県支出金 5万円



老人福祉サービス事業



担 長寿・保険課0799-43-5260

6

R6年度事業費 2億5,488万円
昨年度予算額 2億5,128万円

自立した生活が困難であったり、一人暮らしに不安がある高齢者に対して、施設入所の支援を行います。また、住み慣れた地域で継続して生活するための老人福祉サービスを提供します。

主な経費

養護老人ホーム保護措置費 2億3,500万円
高齢者生活支援ハウス運営委託料 600万円

財源内訳

市一般財源 1億8,832万円
老人ホーム入所者個人等負担金・分担金 5,559万円
基金利子(地域福祉基金) 23万円
ふるさとまちづくり基金 1,074万円



高齢者の生きがいづくり事業



担 長寿・保険課0799-43-5260

7

R6年度事業費 3,037万円

昨年度予算額 3,077万円

健康や体力を維持、改善していくスポーツ大会や健康づくりのほか、在宅福祉を支える友愛活動や地域社会の日常的な奉仕活動などの社会福祉活動等を行う老人クラブに対して活動補助金を交付します。また、長寿を祝う敬老会等を実施する地区に対して補助を行います。

主な経費

単位老人クラブ補助金 1,431万円
敬老会事業補助金 725万円
老人クラブ連合会補助金 531万円

財源内訳

市一般財源 159万円
県支出金 996万円
ふるさとまちづくり基金 1,882万円



高齢者保健福祉月間祝福事業



担 長寿・保険課0799-43-5260

8

R6年度事業費 945万円

昨年度予算額 1,866万円

多年にわたり社会に貢献してきた高齢者に対し、感謝と長寿を祝福するために敬老祝金として80歳の方へ5千円、88歳の方へ1万円、99歳の方へ2万円を支給するほか、100歳以上の長寿者と金婚夫婦に記念品を贈呈します。

主な経費

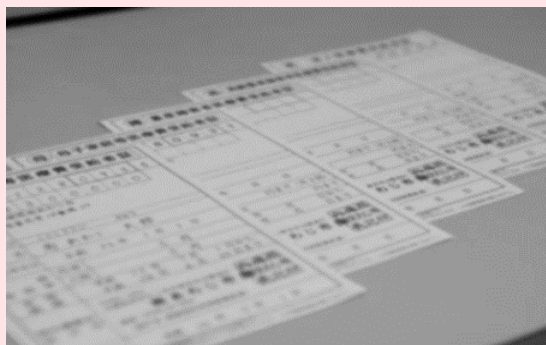
敬老祝金 790万円
長寿祝記念品 73万円
金婚夫婦記念品 20万円

財源内訳

市一般財源 155万円
ふるさとまちづくり基金 790万円



福祉医療費の助成



担 長寿・保険課0799-43-5257

9

R6年度事業費 1億1,046万円

昨年度予算額 1億1,636万円

高齢者や重度心身障害者など経済的に恵まれない方や医療費が高額になる方の医療費等を公費負担し、経済的負担の軽減を図ります。

主な経費

高齢期移行医療費助成金 380万円
重度障害者医療費助成金 5,400万円
高齢重度障害者医療費助成金 5,100万円

財源内訳

市一般財源 4,763万円
県支出金 4,903万円
高齢障給付調整金等 1,380万円



障害者相談支援体制の充実



担 福祉課0799-43-5216

10

R6年度事業費 1,573万円
 昨年度予算額 1,573万円

「淡路圏地域生活支援拠点」と「南あわじ市障害者基幹相談支援センター」を中心とした、障害者の地域生活支援及び相談支援を行います。

「地域生活支援拠点」では、障害者の高齢化等を見据え、障害者の生活を地域全体で支えるサービス提供体制を整えるため、専門性の高い相談や困難ケースの対応、地域の支援体制づくりなどを実施します。

「障害者基幹相談支援センター」では、総合的・専門的な相談支援の実施をはじめ、地域の相談支援体制強化、地域移行・地域定着支援、権利擁護・虐待防止の普及・啓発などを進めます。

主な経費

障害者相談支援業務委託料 1,044万円
 基幹相談支援センター業務委託料 223万円
 地域生活拠点業務負担金 306万円



財源内訳

市一般財源 1,328万円
 国庫支出金 172万円 / 県支出金 73万円

障害者（児）福祉サービス事業



担 福祉課0799-43-5216

11

R6年度事業費 11億4,266万円
 昨年度予算額 10億6,772万円

地域の中で一人ひとりが安心して障害に応じた生活が送れるよう生活介護や就労支援等の各種支援を行います。

主な経費

障害者総合支援（介護給付費・自立支援医療費）
 10億2,350万円
 障害者総合支援（地域生活支援） 2,199万円
 地域活動支援センター基礎的事業補助金 1,546万円
 きらら・ウインズ指定管理料 1,300万円



財源内訳

市一般財源 3億3,334万円
 国庫支出金 5億3,563万円 / 県支出金 2億6,869万円
 ふるさとまちづくり基金 500万円

地域福祉拠点づくり・人材育成補助



担 福祉課0799-43-5216

12

R6年度事業費 2,650万円
 昨年度予算額 2,650万円

地域福祉の中核的機関として、福祉ニーズに応える社会福祉協議会へ補助金を交付します。補助金は、学習機会の提供や交流・ネットワーク推進、情報収集・提供、相談事業として、また、法人運営や地域福祉企画運営、地域福祉サービスにかかる事業費に活用されます。

主な経費

福祉コミュニティ推進費補助金 2,150万円
 生活困窮者支援基盤づくり事業委託料 400万円
 ボランティア活動支援費補助金 100万円



財源内訳

市一般財源 2,450万円
 国庫支出金 200万円

生活困窮者の支援



担 福祉課0799-43-5216

13

R6年度事業費 6億6,901万円
 昨年度予算額 6億431万

資産や能力等すべてを活用してもなお生活に困窮する方に対し、困窮の程度に応じて生活保護費を支給します。

また市役所に生活困窮者自立相談支援員を配置して常時窓口や電話相談に応じるとともに、就労支援員も配置し毎月2回のハローワーク巡回相談を開設するなど就労支援・相談にも応じています。

主な経費

医療扶助費 4億4,000万円
 生活扶助費 1億3,700万円
 住宅扶助費 4,200万円
 生活困窮者自立支援法関係事業 1,588万円

財源内訳

市一般財源 1億6,389万円
 国庫支出金 4億9,556万円
 県支出金 956万円



生活の安定を目的とした福祉施策



担 福祉課0799-43-5216

14

R6年度事業費 1,800万円
 昨年度予算額 2,000万円

生活困窮者の負担軽減を目的とし、高齢者のみの世帯、障害者がいる世帯、ひとり親世帯等に対して、水道基本使用料等への補助により生活支援を行います。

主な経費

水道基本使用料等生活支援福祉補助金 1,800万円

財源内訳

ふるさとまちづくり基金 1,800万円



コミュニティバスの運行



担 市民協働課0799-43-5244
 長寿・保険課0799-43-5260

15

R6年度事業費 1億5,476万円
 昨年度予算額 1億3,712万円

市民の生活移動手段を確保するため、コミュニティバス「らん・らんバス」を運行します。運行にあたっては高齢者及び障害者への運賃助成による外出支援を図るほか、本年度より脱炭素の取り組みとして一部路線でEVバスを使用します。

また、洲本市から沼島汽船場前まで運行している洲本市コミュニティバスに対し、南あわじ市域内での乗継分の運賃を補助します。

主な経費

コミュニティバス運行委託料 1億4,452万円
 高齢者・障害者への運賃助成 330万円

財源内訳

市一般財源 3,591万円
 県支出金 1,311万円
 運賃収入 1,200万円
 ふるさとまちづくり基金 9,374万円



地方路線バス等運行対策事業



担 市民協働課0799-43-5244

16

R6年度事業費 2,942万円
昨年度予算額 2,857万円

市民の生活移動に必要なバス路線を存続させるため、民間路線バスの運行経費の一部を補填するとともに、バス利用を促進するための運賃値下げによる減収分を補助します。

主な経費

地方路線バス運行補助金(長田線、鳥飼線) 1,128万円
バス利用促進事業補助金(長田線、鳥飼線、縦貫線) 1,814万円

財源内訳

市一般財源 902万円
ふるさとまちづくり基金 2,040万円



第2章

子育て環境の向上と 教育の充実

平日一時預かり事業



担 子育てゆめるん課0799-43-5219

1

R6年度事業費 350万円
昨年度予算額 0万円

在宅で子育てしている保護者の育児等に伴う心理的、肉体的な負担を軽減するため、また子育てに孤独を感じる等子育てに不安や悩みを抱える方のリフレッシュを目的とした平日の一時預かりサービスを試行的に実施します。

保育所や認定こども園などに通っていない0歳6か月～3歳未満のこどもを対象に、「ゆめるんセンター」で実施します。

主な経費

平日一時預かり事業 350万円

財源内訳

市一般財源 55万円

国庫支出金 163万円

一時預かり利用料 132万円



休日保育事業



担 子育てゆめるん課0799-43-5219

2

R6年度事業費 400万円
昨年度予算額 0万円

家庭と仕事の両立支援と労働力の確保を目的に、休日(日曜、祝日等)に保護者が仕事でこどもを保育することができない場合に、保護者に代わって行う「休日保育」を試行的に「すくすく保育園」で実施します。

主な経費

休日保育事業 400万円

財源内訳

県支出金 200万円

子ども未来基金 200万円



コアカリキュラム推進事業



担 学校教育課0799-43-5231

3

R6年度事業費 240万円
昨年度予算額 240万円

南あわじ市が世界に誇る伝統芸能「淡路人形浄瑠璃」を学校教育の中心課程に据えて、義務教育の9年間の中で、実際に人形に触れながら歴史や背景、魅力を学び、主体的な学びを深める教育を推進します。

主な経費

淡路人形座出前講座等講師手数料 189万円

財源内訳

国庫支出金 120万円

学ぶ楽しさ日本一基金 120万円



ICT環境整備事業



担 教育総務課0799-43-5230
学校教育課0799-43-5231

4

R6年度事業費 2億4,398万円
昨年度予算額 2億3,799万円

「GIGAスクール構想」に基づき、タブレット端末や電子黒板を使用した授業を実施し、今後の社会において基盤となる情報活用能力を養います。また、日ごろからタブレット端末を家庭へ持ち帰り、ドリル学習やオンライン学級活動などを実施し、子どもたちの『学び』を充実させる環境を推進します。

主な経費

教育情報システム保守管理委託料 1億4,270万円
情報端末運用管理等業務委託料 7,616万円
電子黒板借上料等 1,680万円

財源内訳

学校組合負担金 1,953万円
学ぶ楽しさ日本一基金 2億2,445万円



学ぶ楽しさ支援センター運営事業



担 教育総務課0799-43-5230
学校教育課0799-43-5231

5

R6年度事業費 9,515万円
昨年度予算額 2,820万円

教職員の自主研修支援・防災教育の拠点・社会的自立支援として運営を行います。「第三の居場所」として、課題を抱える子どもたちが安心して通うことができる教育支援体制の充実を図るほか、令和6年度では内装、電気設備、遊具などの整備を行います。

主な経費

子どもの第三の居場所運営業務委託料 1,440万円
センター長報酬等 650万円
講師謝礼等 128万円
学ぶ楽しさ支援センター改修工事 6,310万円

財源内訳

国庫支出金 90万円
子どもの第三の居場所運営事業助成金 1,840万円
子ども第三の居場所開設助成費 5,000万円
市債(合併特例事業債) 1,240万円
学ぶ楽しさ日本一基金 1,345万円



スクールチャレンジ事業



担 学校教育課0799-43-5231

6

R6年度事業費 500万円
昨年度予算額 620万円

「学ぶ楽しさ日本一」を目指す事業の一環として、学力向上、特別支援教育、いじめ・不登校問題など様々な課題に対応した教職員の資質向上研修や研究、体制づくり等を支援していくことで、各校が「学ぶ楽しさ」を追求する授業や行事、取り組みを展開し、特色ある学校づくりを進めていきます。

主な経費

スクールチャレンジ事業補助金 500万円

財源内訳

国庫支出金 250万円
学ぶ楽しさ日本一基金 250万円



不登校対策・心の相談の充実



担 学校教育課0799-43-5231

7

R6年度事業費 1,655万円
昨年度予算額 1,519万円

小中学校の引きこもり等の不登校者を受け入れるため、市内4か所で開設している適応教室で、学校復帰への支援・指導を実施します。また、学ぶ楽しさ支援センターと連携し、カウンセリングによる教育相談や教育指導などを行います。

主な経費

適応教室指導員報酬等 1,581万円

財源内訳

学校組合負担金 218万円

学ぶ楽しさ日本一基金 1,437万円



夢プロジェクト事業



担 体育青少年課0799-43-5234

8

R6年度事業費 400万円
昨年度予算額 400万円

小中学生を対象に、著名なスポーツ選手・文化人等を講師として招き、講演会を開催してスポーツや文化の魅力や楽しさ、努力する大切さを学ぶ機会を提供します。

主な経費

夢プロジェクト事業講師等手数料 290万円

財源内訳

国庫支出金 200万円

企業版ふるさと南あわじ応援寄附金 200万円



小学校施設改修事業



担 教育総務課0799-43-5230

9

R6年度事業費 2億50万円
昨年度予算額 1,350万円

老朽化が進む小学校校舎について、子どもたちが安全・安心な学校生活を送れるように改修工事を実施します。令和6年度は市内小学校音楽室空調設置工事(7校)、神代小学校トイレ改修工事、福良小学校屋上防水改修工事などを実施します。

主な経費

福良小学校屋根防水改修工事 4,810万円

神代小学校トイレ改修工事 4,380万円

市内小学校音楽室空調設置工事 1億860万円

財源内訳

国庫支出金 4,777万円

市債(過疎対策事業債) 7,900万円

市債(合併特例事業債) 6,970万円

学ぶ楽しさ日本一基金 403万円



小中学校施設営繕事業



担 教育総務課0799-43-5230

10

R6年度事業費 8,030万円
 昨年度予算額 3,270万円

南淡中学校管理棟防水改修工事、複列小学校屋内運動場防水改修工事、倭文小学校屋根防水改修工事など、老朽化が著しく雨漏りの原因の1つである防水部分を重点的に改修し、子どもたちが安全・安心な学校生活を送れるように、小中学校施設の営繕等を行います。

主な経費

倭文小学校屋根防水改修工事 750万円
 複列小学校屋内運動場防水改修工事 1,670万円
 南淡中学校管理棟屋根防水改修工事 5,610万円

財源内訳

市債(過疎対策事業債) 5,610万円
 市債(合併特例事業債) 2,290万円
 学ぶ楽しさ日本一基金 130万円



沼島地域教育環境改善事業



担 教育総務課0799-43-5230

11

R6年度事業費 580万円
 昨年度予算額 0万円

寄附者の遺志実現にむけて、「夢をカタチに丸川プロジェクト事業」として、実行委員会を組織化して、沼島小中学校の児童生徒がいいきと誇りと愛情をもって豊かな学校生活を送るため、児童生徒自らが学校をよくするために何をすべきか議論し、その提案を実現していく事業を実施します。令和6年度は、実行委員会で早急に改修が必要と判断されたトイレの改修工事を行います。

主な経費

沼島中学校トイレ改修工事 580万円

財源内訳

学ぶ楽しさ日本一基金(寄附分) 580万円



アフタースクール事業



担 体育青少年課0799-43-5234

12

R6年度事業費 1億3,884万円
 昨年度予算額 1億81万円

放課後児童クラブ(学童保育)と放課後子ども教室を融合したアフタースクールを展開します。これまでの開設校区(9か所)に加え、新たに2か所の開設を進めていきます。専門講師や「まちの先生」といった地域の人材を活用しながら、遊びを通じた文化、スポーツなどの多種多様な体験プログラムを提供します。

主な経費

エリアマネージャー、スタッフ報酬等 9,221万円
 講師等派遣委託料 600万円
 講師等謝礼 2,091万円

財源内訳

国庫支出金 2,296万円 / 県支出金 891万円
 市債(過疎対策事業債) 220万円
 アフタースクール事業利用料等 2,488万円
 学ぶ楽しさ日本一基金 7,989万円



放課後児童クラブ（学童保育）



担 体育青少年課0799-43-5234

13

R6年度事業費 2,282万円
昨年度予算額 4,766万円

保護者の就労等により、昼間に留守となる家庭の児童を対象とした放課後児童クラブ（学童保育）を開設します。通常授業時は、授業終了時から午後6時まで、長期休暇中は午前8時から午後6時まで開設し、主に学校の空き教室等を利用して放課後の生活や遊びの場を提供します。

主な経費

支援員報酬等 1,453万円
学童保育業務委託料 555万円

財源内訳

国庫支出金 576万円 / 県支出金 576万円
学童保育利用料 577万円
子ども未来基金 553万円



放課後子ども教室



担 体育青少年課0799-43-5234

14

R6年度事業費 392万円
昨年度予算額 350万円

放課後の時間に、地域の方の協力を得ながら、公民館等で工作やおやつ作り等の体験活動や交流、遊びを通して子どもたちが健全に過ごせる居場所を提供します。

主な経費

教育活動サポーター謝礼 216万円
教育活動推進員謝礼 114万円
放課後子ども教室コーディネーター謝礼 24万円

財源内訳

県支出金 105万円
学ぶ楽しさ日本一基金 287万円



男女共同参画計画推進事業



担 ふるさと創生課0799-43-5205

15

R6年度事業費 399万円
昨年度予算額 500万円

第3次男女共同参画計画に基づき、性別役割分担意識の解消を目的とした啓発などを行います。また、令和5年度に発足した子育て応援コンソーシアムについて、市内事業者の参加を得つつ、女性活躍や子育て支援についての意識醸成を図ります。

主な経費

子育て応援コンソーシアム運営支援業務委託料 330万円
男女共同参画啓発業務委託料 50万円

財源内訳

県支出金 170万円
子ども未来基金 229万円



子育て学習・支援センター (通称：ゆめるんセンター) の運営



担 子育てゆめるん課0799-43-5219

16

R6年度事業費 1,782万円

昨年度予算額 1,685万円

乳幼児を持つ親等を対象に、出前ひろばや年齢別ひろば、ままひろば、イクメン交流などを開催します。行事を通じて親同士の仲間づくりや子育て相談、子育てサークルやボランティアの育成などを目指します。また、休日には家族参加型のイベントも開催します。

主な経費

インストラクター報酬、補助員謝礼等 1,258万円

センター運営費 524万円

財源内訳

市一般財源 133万円

国庫支出金 288万円 / 県支出金 153万円

子育て学習・支援センター個人負担金 33万円

子ども未来基金 1,175万円



就学前児童の教育・保育事業



担 子育てゆめるん課0799-43-5219

17

R6年度事業費 6億451万円

昨年度予算額 5億3,600万円

0歳児～小学校就学前の児童の健やかな成長が図られるよう、教育・保育の環境を充実させます。公立の保育所・幼稚園・こども園14施設を運営するほか、私立の保育所等に運営費の補助を行います。

主な経費

保育所運営費 2億7,984万円

幼稚園運営費 2,089万円

認定こども園運営費 3億378万円

財源内訳

市一般財源 8,654万円

国庫支出金 2億1,554万円 / 県支出金 9,821万円

保育料 4,469万円 / 給食費負担金等 6,450万円

子ども未来基金 6,753万円

市債(合併特例事業債) 950万円

市債(過疎対策事業債) 1,800万円



就学援助事業



担 学校教育課0799-43-5231

18

R6年度事業費 4,898万円

昨年度予算額 4,807万円

経済的理由によって就学困難な児童生徒の保護者(要保護及び準要保護世帯)に対して、学用品費・修学旅行費・学校給食費等の一部を援助します。

主な経費

小中学校就学援助費 2,016万円

小中学校特別支援教育就学奨励費 255万円

小中学校準要保護児童生徒給食費 2,627万円

財源内訳

市一般財源 4,767万円

国庫支出金 131万円



離島留学支援事業



担 学校教育課0799-43-5231

19

R6年度事業費 1,240万円
昨年度予算額 1,083万円

沼島の豊かな自然や歴史・文化の中で、9年間を通して個に応じたきめ細かな教育を提供するなど、学校の特色化を推進します。また、離島留学生や小規模特認校制度で校区外通学を希望する児童生徒を受け入れることで、沼島の活性化を目指します。

主な経費

通学費補助金 277万円
通学運行委託料 910万円

財源内訳

国庫支出金 620万円
学ぶ楽しさ日本一基金 620万円



出産支援事業



担 健康課0799-43-5218

20

R6年度事業費 2,410万円
昨年度予算額 2,224万円

夫婦で受けた不妊検査や、不妊治療、不育症検査等に係る経済的負担の軽減を図るため、治療費等の一部を助成します。妊産婦がより健やかに産前産後を過ごせるよう、妊娠期や産後の健康診査費の一部を助成します。

主な経費

不妊治療ペア検査助成金 15万円
不妊治療費補助金 200万円
不育症治療費補助金 5万円
妊婦健康診査補助金 1,700万円
産婦健康診査補助金 250万円

財源内訳

市一般財源 10万円
国庫支出金 125万円／県支出金 10万円
子ども未来基金 2,265万円



出産祝金の支給



担 子育てゆめるん課0799-43-5219

21

R6年度事業費 2,500万円
昨年度予算額 1,240万円

次代を担う子どもの出産を祝福するとともに、健やかな発育を願い、出産祝金の支給を行います。

これまで第1子・第2子は1人につき3万円、第3子以降は1人につき10万円を支給してきましたが、令和6年度より出生児の人数に関係なく一律10万円の支給を行います。

主な経費

出産祝金 2,500万円

財源内訳

市一般財源 1,260万円
子ども未来基金 1,240万円



こんにちは赤ちゃん事業・乳幼児健診事業



担 健康課0799-43-5218

22

R6年度事業費 1,002万円
昨年度予算額 1,017万円

生後4か月までの乳児がいる家庭を保健師等が訪問し、育児・授乳・産後の身体のことなどの相談に応じます。また、乳幼児健診や相談等によって、乳幼児の心身の健やかな発達と健康の保持増進を図ります。

主な経費

乳幼児健診事業 698万円
母子衛生事業(乳幼児相談・育児支援訪問事業) 304万円

財源内訳

市一般財源 915万円
国庫支出金 71万円
県支出金 16万円



児童手当事業



担 子育てゆめるん課0799-43-5219

23

R6年度事業費 7億円
昨年度予算額 6億144万円

「こども未来戦略」に基づき、若い世代の所得を増やす取組として、令和6年10月分以降の児童手当が拡充されます。

これまでの所得制限は撤廃され、支給期間も高校生年代までになり、第3子以降は月3万円に拡充されます。

主な経費

児童手当費 7億円

財源内訳

市一般財源 9,072万円
国庫支出金 5億1,856万円
県支出金 9,072万円



母(父)子家庭への助成等



担 子育てゆめるん課0799-43-5219
長寿・保険課0799-43-5257

24

R6年度事業費 1億5,069万円
昨年度予算額 1億6,311万円

母(父)子家庭の生活の安定と自立を助けるため、所得に応じて児童扶養手当の支給、医療費の公費負担を行います。また、婦人共励会への助成や介護士・看護師など就職に有利な資格を取得するために、養成機関において専門的な訓練を受ける場合に、訓練促進費を支給します。

主な経費

児童扶養手当 1億4,100万円
母子家庭等医療費助成金 545万円
高等技能訓練促進事業補助金 240万円
母子保護費 120万円

財源内訳

市一般財源 9,564万円
国庫支出金 4,955万円 / 県支出金 290万円
子ども未来基金 260万円



ファミリーサポートセンター事業



担 子育てゆめるん課0799-43-5219

25

R6年度事業費 246万円
昨年度予算額 226万円

保護者の体調が悪い時等に子どもを一時的に預かるサービスを提供します。サービスを提供する側と受ける側はそれぞれが会員登録を行い、ファミリーサポートセンターに配置されたアドバイザーが会員間の調整を行います。

主な経費

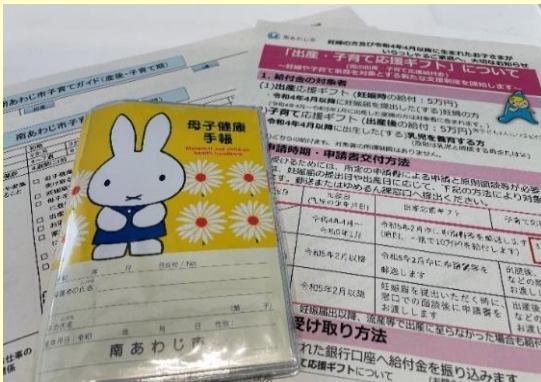
アドバイザー報酬等 199万円
講習会講師謝礼 6万円

財源内訳

市一般財源 82万円
国庫支出金 82万円
県支出金 82万円



出産・子育て応援事業



担 健康課0799-43-5218
子育てゆめるん課0799-43-5219

26

R6年度事業費 2,500万円
昨年度予算額 2,760万円

妊娠届出時より妊婦や低年齢期の子育て家庭に寄り添い、出産・育児等の見通しを立てるための面談や必要な支援につなぐ「伴走型相談支援」を行います。また、妊娠届や出産届を行った妊婦等に対し、出産育児関連用品の購入や子育て支援サービスの利用負担軽減を図る「経済的支援(妊婦1人あたり5万円、子ども1人あたり5万円)」を一体的に実施します。

主な経費

出産・子育て応援給付 2,500万円

財源内訳

国庫支出金 1,667万円
県支出金 417万円
子ども未来基金 416万円



子どもの医療費助成事業



担 長寿・保険課0799-43-5257

27

R6年度事業費 1億8,572万円
昨年度予算額 1億6,953万円

「子育ての喜びが見えるまち」の実現のため、0歳～高校生世代までの医療費無償化を行います。(満1歳から所得制限あり)

また、小児慢性特定疾病医療等の受給者を対象として、公費負担医療に係る費用を助成します。

主な経費

乳幼児等医療費助成金 5,913万円
こども医療費助成金 1,817万円
すこやか子育て支援費等(市単独) 1億230万円

財源内訳

市一般財源 4,166万円
県支出金 4,176万円
子ども未来基金 1億230万円



小児救急診療事業



担 健康課0799-43-5218

28

R6年度事業費 5,994万円
 昨年度予算額 5,908万円

子ども(中学生以下)の急な疾病への対応として、休日夜間の小児救急外来や島内外の小児科医による輪番制診療を洲本応急診療所で行います。また、小児夜間救急の専用電話を設置し、すぐに診療が必要かを判断し当番医師を紹介します。

主な経費

小児救急診療医師謝礼 4,500万円
 小児救急診療医師車借上料 1,270万円
 小児救急診療業務負担金 164万円

財源内訳

小児救急診療業務負担金 3,833万円
 子ども未来基金 2,161万円



淡路人形浄瑠璃の伝承



担 社会教育課0799-43-5232

29

R6年度事業費 9,534万円
 昨年度予算額 6,142万円

淡路人形浄瑠璃の振興や保存伝承及び市の観光振興に寄与することを目的として淡路人形浄瑠璃館の運営を行います。また、建設されて11年が経過する淡路人形浄瑠璃館を適切に運営していく上で、館内の改修及び館外の周辺整備を実施します。

主な経費

淡路人形浄瑠璃館指定管理料 5,000万円
 淡路人形浄瑠璃館改修負担金 4,050万円
 淡路人形浄瑠璃体験教室補助金 98万円
 淡路人形協会負担金 310万円
 義太夫節浄瑠璃保存伝承事業補助金 50万円

財源内訳

市一般財源 1,738万円
 ふるさとまちづくり基金 7,796万円



門崎砲台跡保存活用事業



担 社会教育課0799-43-5232

30

R6年度事業費 203万円
 昨年度予算額 0万円

門崎砲台の発掘調査報告書を発行し、保存及び活用に向けた検討を進めます。

主な経費

調査報告書印刷代 200万円
 門崎砲台等講演会、フィールドワークの開催 3万円

財源内訳

ふるさとまちづくり基金 203万円



地区公民館改修事業



担 中央公民館0799-43-5038

31

R6年度事業費 3,500万円
昨年度予算額 160万円

利用者が安全で快適に利用できるよう公民館施設の改修工事を実施します。令和6年度は広田、福良地区公民館の改修を行います。

主な経費

広田地区公民館空調改修 1,280万円
福良地区公民館防水改修 1,870万円

財源内訳

市債(合併特例事業債) 1,210万円
市債(過疎対策事業債) 1,870万円
ふるさとまちづくり基金 420万円



文化・スポーツ担い手強化応援事業



担 体育青少年課0799-43-5234
社会教育課0799-43-5232

32

R6年度事業費 300万円
昨年度予算額 300万円

市内において活動する文化、スポーツに携わる団体のうち、中学生を含めた若年層の市民等を受け入れ、当該団体の担い手となる人材を確保し、活動体制の強化に取り組む団体に対して必要な経費(1団体あたり上限15万円)を助成します。

主な経費

文化・スポーツ担い手強化応援補助金 300万円

財源内訳

学ぶ楽しさ日本一基金 300万円



読書活動推進事業



担 学校教育課0799-43-5231

33

R6年度事業費 970万円
昨年度予算額 1,160万円

子どもたちが読書習慣を身に付け、言葉への関心や理解を深めることで、読解力の向上を図り、豊かな心を育みます。

また、学校図書館の整備を進めるほか、学校司書を1人増員し、市立図書館や学校と連携することで読書活動を推進していきます。

主な経費

学校司書報酬等 860万円
図書室備品購入費 110万円

財源内訳

学ぶ楽しさ日本一基金 970万円



公園整備事業



担 都市政策室0799-43-5227

34

R6年度事業費 2,570万円
昨年度予算額 150万円

市内の都市公園(8か所)及びその他公園(6か所)の公園機能維持のための長寿命化計画を策定し、計画的に公園機能維持を目指します。また、三原庁舎跡の公園整備に向けた実施設計を行います。

主な経費

公園長寿命化計画策定業務委託料 1,770万円
実施設計業務委託料 800万円

財源内訳

国庫支出金 885万円
市債(公共事業等債) 790万円
市債(合併特例事業債) 760万円
ふるさとまちづくり基金 135万円



保育士確保対策事業



担 子育てゆめるん課0799-43-5219

35

R6年度事業費 290万円
昨年度予算額 410万円

保育士不足を解消し、子育て環境の充実を図るため、島外からの新規採用保育士へ就労支援一時金の支給や民間賃貸住宅等の借上げに要する経費の一部助成を行います。

主な経費

移住保育士家賃補助金 170万円
移住保育士就労支援一時金 120万円

財源内訳

子ども未来基金 290万円



第3章

地域の資源を活かした 地元産業の活性化

地域計画策定推進緊急対策事業



担 農林振興課0799-43-5223

1

R6年度事業費 430万円
昨年度予算額 330万円

地域の住民で現状を把握し、将来の地域農業について話し合いを行うなど、地域計画(未来設計図)策定への取り組みに必要な経費を支援します。

また、優良事例の紹介や研修会など地域の話し合いの活性化に取り組みます。

主な経費

地域計画アドバイザー謝礼 5万円
「集落の未来設計図」策定支援事業補助金 180万円
地域計画策定推進員報酬等 150万円

財源内訳

市一般財源 180万円
県支出金 250万円



多様な担い手確保・育成総合支援事業



担 農林振興課0799-43-5223

2

R6年度事業費 180万円
昨年度予算額 120万円

新規就農者を受け入れる体制を強化するため、親方農業者の育成や、地域での環境整備等を行う取り組みを支援します。あわせて、就農セミナーへの参加、就農相談会の開催を行い、就農希望者に対して南あわじ農業をPRする取り組みを支援します。

また、他地域の女性農業者との交流や地域農業のリーダー育成、集落営農等組織の育成など多様な担い手を確保・育成する取り組みを支援します。

主な経費

多様な担い手確保・育成支援事業補助金 180万円

財源内訳

ふるさとまちづくり基金 180万円



有害鳥獣対策事業



担 農林振興課0799-43-5223

3

R6年度事業費 4,891万円
昨年度予算額 6,270万円

農林業等への鳥獣被害軽減のため、猟友会や集落、関係機関と連携し、捕獲や被害防止等の取り組みを推進します。

捕獲従事者の高齢化に対応するため、ICT導入等による捕獲効率向上を推進するとともに、捕獲時の労力軽減を図ります。

また、獣害に強い集落づくりを推進するため、計画的かつ複合的な取り組みを支援します。

主な経費

捕獲、狩猟に対する負担金等 3,660万円
回収・搬入・処理委託料等 154万円
被害防止対策事業(防護柵等) 970万円

財源内訳

市一般財源 2,768万円
県支出金 2,123万円



和牛・乳牛畜産農家の支援



担 農林振興課0799-43-5223

4

R6年度事業費 3,570万円
 昨年度予算額 3,607万円

本市の循環型農業やブランド力を支える畜産業を振興するため、乳牛においては労働力軽減や乳質向上などの取り組みに対して、和牛においては優良な但馬牛の市場導入や自家保留などの取り組みに対してそれぞれ支援します。

また、乳牛及び和牛の体型や資質、能力の改良促進を目的とした畜産共進会の開催を支援するとともに、淡路食肉センター事業費の一部を負担します。

主な経費

食肉センター負担金 1,923万円
 畜産共進会負担金 400万円
 酪農振興事業補助金 600万円
 優良和牛自家保留事業補助金 240万円

財源内訳

市一般財源 2,377万円
 県支出金 120万円
 ふるさとまちづくり基金 1,073万円



森林整備事業



担 農林振興課0799-43-5223
 社会教育課0799-43-5232

5

R6年度事業費 2,550万円
 昨年度予算額 890万円

森林の整備・保全・保護のため「森林環境譲与税」を活用し、森林を気象災害、病害虫、鳥獣害などから守り、健全な森林づくり等を実施します。また、名勝慶野松原を保全するための事業に取り組みます。

主な経費

林道修繕事業 200万円
 松くい虫防除事業 770万円
 慶野松原保存管理委託料 1,580万円

財源内訳

市一般財源 1,444万円
 国庫支出金 573万円／県支出金 383万円
 慶野松原駐車場使用料 150万円



ほ場整備事業



担 農地整備課0799-43-5225

6

R6年度事業費 4億9,049万円
 昨年度予算額 3億4,451万円

農地の区画形質の改善と用排水路や農道の整備等を行うことで効率的な営農を行うため、ほ場整備を行います。

主な経費

県営ほ場整備受託事業(八幡北) 1,487万円
 県営ほ場整備事業負担金 4,613万円
 (湊里・養宜・片田・八幡北・倭文長田)
 コンクリート畦畔整備工事等 3億5,420万円
 (新田・国衛)

財源内訳

市一般財源 2,311万円
 県支出金 2億6,565万円／地元分担金 4,453万円
 市債(公共事業等債) 5,950万円
 市債(過疎対策事業債) 4,820万円
 市債(一般事業債) 4,950万円



ため池等整備事業



担 農地整備課0799-43-5225

7

R6年度事業費 1億1,828万円
 昨年度予算額 1億6,318万円

ため池に関わる災害を未然に防止し、ため池の保全を図るため、堤体の水漏れ防止や取水施設・洪水吐などの改修工事を行います。改修をすることで、かんがい用水の安定的な確保と維持管理の省力化、洪水被害の軽減を図ります。

主な経費

ため池改修等工事費 1億100万円
 県営ため池改修等事業負担金 2,252万円

財源内訳

市一般財源 251万円
 県支出金 4,985万円 / 地元分担金 42万円
 市債(公共事業等債) 1,740万円
 市債(過疎対策事業債) 1,810万円
 市債(緊急浚渫推進事業債) 3,000万円



オニオンロードの整備



担 農地整備課0799-43-5225

8

R6年度事業費 4,615万円
 昨年度予算額 8,132万円

オニオンロード(南淡路広域農道)は南あわじ市阿万から洲本市千草までの約19.6kmの農道です。農業機械の大型化による農産物の集出荷の効率化を図るため兵庫県が着工して工事が進められており、経費の一部を負担します。

南あわじ市の区間については令和4年度で開通し、全線開通は令和7年度末の見込みです。

主な経費

県営広域営農団地農道整備事業負担金 4,615万円

財源内訳

市一般財源 465万円
 市債(公共事業等債) 4,150万円



地籍調査事業



担 農地整備課0799-43-5225

9

R6年度事業費 5,865万円
 昨年度予算額 3,331万円

土地の境界や面積・地目を明確にするため、市内各地で地籍調査を行います。令和6年度は、5地区(倭文土井、松帆櫛田、津井、阿那賀、湊)の調査・測量を実施します。

主な経費

三角多角等量業務委託料 2,743万円
 伐採作業委託料 57万円

財源内訳

市一般財源 3,017万円
 県支出金 2,828万円
 公簿・図面等手数料 15万円
 図面等コピー使用料 5万円



多面的機能支払事業



担 農地整備課0799-43-5225

10

R6年度事業費 2億486万円
 昨年度予算額 2億1,149万円

農業者と地域住民で構成する「活動組織」が、地域ぐるみで取り組む農地・農業用水等の資源の保管理活動や農村環境の保全活動を支援します。また、老朽化が進む水路・農道等の施設の長寿命化のための補修・更新等を支援します。

主な経費

多面的機能支払活動支援交付金 2億53万円
 内訳：農地維持＋資源向上（共同活動） 1億3,318万円
 資源向上（長寿命化） 6,735万円

財源内訳

市一般財源 5,185万円
 県支出金 1億5,301万円



水産資源の確保



担 水産振興課0799-43-5243

11

R6年度事業費 335万円
 昨年度予算額 335万円

漁獲量の減少や魚価の低迷による漁業経営の悪化を改善するため、アオリイカの産卵床（ウバメガシ）や産卵用タコ壺の設置、ワカメ種苗の生産試験といった資源増殖の取り組みに対して補助金を交付します。

主な経費

水産資源増大事業補助金（タコ壺・アオリイカ） 285万円
 ワカメ種苗生産試験補助金 50万円

財源内訳

市一般財源 335万円



栽培漁業推進事業（中間育成）



担 水産振興課0799-43-5243

12

R6年度事業費 1,431万円
 昨年度予算額 2,011万円

年々減少傾向にある漁獲量を増やし、漁業経営の安定化を図るため、タイやヒラメ、キジハタ、オコゼ等の稚魚を福良洲崎の中間育成施設で育成し、放流します。また、底質を改善し、海底からの栄養塩供給を促す効果も期待される豊かな海再生種苗（ナマコ、クマエビ）の放流も行い、将来にわたって安定的に魚が獲れるような「つくり育てる漁業」を推進します。

主な経費

中間育成事業委託料等 1,300万円
 浅海域増殖事業補助金 100万円

財源内訳

市一般財源 131万円
 市債（過疎対策事業債） 1,300万円



漁場改良造成事業

藻場造成事業



担 水産振興課0799-43-5243

13

R6年度事業費 410万円

昨年度予算額 150万円

沿岸の水産資源の増大と地域漁業の活性化、ブルーカーボン生態系の創出による地球温暖化防止への貢献を目的として、鉄鋼スラグ製品を活用した藻場づくりを実施します。

藻場は、魚を始めとする水産生物の産卵場や隠れ場等となり、「海のゆりかご」として重要な役割を果たすほか、CO2の吸収源（ブルーカーボン生態系）としての役割も期待されます。

主な経費

藻場造成工事費 410万円

財源内訳

市債（過疎対策事業債） 410万円



栄養塩供給・底質改善事業



担 水産振興課0799-43-5243

14

R6年度事業費 1,220万円

昨年度予算額 350万円

海域の貧栄養化が深刻化していることから、有機物が多く含まれる河川浚渫土を活用した養浜を行い、砂浜の保全ならびに溶け出しによる海域への栄養塩の供給試験を実施します。

また、福良湾において海底ヘドロの堆積による海域の貧酸素化、生物生息環境の悪化を改善するため、底質改良材の活用やナマコやアサリなどの豊かな海再生種苗の放流、藻場造成等に関する各種事業を実施し、漁場環境の改善と水産資源の増大を図ります。

主な経費

河川浚渫土養浜工事 510万円

養浜モニタリング調査 350万円

福良湾環境保全事業 360万円

財源内訳

市債（過疎対策事業債） 1,220万円



陸の港西淡管理事業



担 市民協働課0799-43-5244

15

R6年度事業費 2,862万円

昨年度予算額 2,734万円

公共交通利用者にとって本市の玄関口である陸の港西淡において、高速バス乗車券及び土産物の販売、レンタサイクルの受付のほか、観光情報の発信等を行います。また、陸の港西淡を拠点とした観光・交通の活性化にも取り組みます。

主な経費

陸の港西淡運営管理業務委託料 2,382万円

財源内訳

市一般財源 2,082万円

行政財産使用料（自動販売機設置使用料） 14万円

乗車券販売手数料等 766万円



資源循環型産業体系構築事業



担 農林振興課0799-43-5223

16

R6年度事業費 870万円
昨年度予算額 2,710万円

玉ねぎ残渣や下水汚泥などのバイオマス資源を、地域内で循環させる産業体系の構築を図るため、資源循環産業体系のあり方を総合的に見直し、様々な手法をあらゆる角度から検討します。

また、アメリカミズアブを飼育し、養殖魚用飼料として活用する地域コミュニティ型資源循環サイクルの構築に向けた調査研究を引き続き実施します。

主な経費

残渣等処理方針再検討業務 700万円
資源循環構築事業負担金 130万円

財源内訳

県支出金 360万円
ふるさとまちづくり基金 510万円



食の拠点推進事業



担 食の拠点推進課0799-43-5224

17

R6年度事業費 1,023万円
昨年度予算額 1,302万円

淡路島の野菜、肉、魚、酪農乳製品等の特産品が集まるあわじ島まるごと食の拠点施設において、出荷農家の販売品目の多様化を進めるとともに、未利用魚・低利用魚や認知度の低い野菜のPR、食育・収穫体験などのイベントの開催など都市と農村の交流を支援します。

主な経費

食の拠点施設指定管理料 400万円
生産者販売力アップ事業委託料 250万円

財源内訳

市一般財源 824万円
公有財産建物共済分担金 3万円
ふるさとまちづくり基金 196万円



イングランドの丘の管理運営



担 商工観光課0799-43-5221

18

R6年度事業費 1億3,242万円
昨年度予算額 1億193万円

野菜や果物の収穫体験、動物とのふれあいなどを楽しむことができる観光施設「淡路ファームパークイングランドの丘」の管理・運営を支援し、コアラを観光の目玉として市内への観光客の誘致を図ります。

主な経費

コアラ等特殊動植物管理委託料 8,470万円
地域特産物PRイベント補助金 105万円

財源内訳

市一般財源 221万円
県支出金 9,871万円
建物共済分担金 20万円
淡路ファームパークイングランドの丘基金 3,130万円



農畜水産物販売人材育成事業



担 商工観光課0799-43-5221

19

R6年度事業費 280万円
昨年度予算額 300万円

第1次産業生産者の販売力強化の取り組みとして、市内の若手生産者に対して、勉強会や首都圏への視察研修を行うことにより販路拡大やマーケティングスキルの習得を支援します。

主な経費

農畜水産物販売人材育成事業委託料 170万円
参加者旅費等 110万円

財源内訳

ふるさとまちづくり基金 280万円



泉源開発事業



担 商工観光課0799-43-5221

20

R6年度事業費 1億2,300万円
昨年度予算額 7,470万円

市内における将来の温泉湯量不足、泉源枯渇に備えるため、南あわじ温泉郷事業協同組合が実施する「泉源開発事業」に対し補助金を交付します。

主な経費

泉源開発事業補助金 1億2,300万円

財源内訳

市一般財源 8,200万円
ふるさとまちづくり基金 4,100万円



徳島空港線バス実証運行事業



担 市民協働課0799-43-5244

21

R6年度事業費 3,500万円
昨年度予算額 3,600万円

2025年開催の大阪・関西万博に向け、関東圏等からの観光客やビジネス客等の誘客促進に資する路線の可能性について検証することを目的として、徳島空港をハブとした関西圏の周遊手段を構築するとともに、関西圏のオーバーツーリズム対策として関東⇔徳島空港⇔関西のルート認知を高め、淡路島(南あわじ市)の交流人口及びその滞在時間の増加、消費拡大を図ります。

主な経費

徳島空港線実証運行事業補助金 3,500万円

財源内訳

ふるさとまちづくり基金 3,500万円



観光客誘致への取り組み



担 商工観光課0799-43-5221

22

R6年度事業費 2,397万円
昨年度予算額 4,127万円

淡路島総合観光戦略に基づき、淡路島が一体となり大阪・関西万博に向けた観光戦略や淡路島日本遺産、サイクルツーリズム等を推進し、観光客誘致に取り組みます。また、本市では観光ガイドの養成等に取り組み、長期滞在型観光や広域観光ブランディング事業を推進します。

主な経費

淡路島観光協会補助金 1,250万円
淡路島総合観光戦略推進事業等負担金 800万円
長期滞在型観光推進事業 140万円
広域観光ブランディング事業負担金 150万円

財源内訳

市一般財源 623万円
国庫支出金 350万円
ふるさとまちづくり基金 1,424万円



オーバーツーリズム対策事業



担 商工観光課0799-43-5221

23

R6年度事業費 1,050万円
昨年度予算額 0万円

大鳴門橋自転車道の完成が2027年度に予定されており、多くのサイクリストや一般観光客の来訪が想定されています。大鳴門橋周辺エリアでは、現状においても観光シーズンになると渋滞が発生しており、自転車道の開通に伴い、さらに渋滞の深刻さが危惧されるため、オーバーツーリズム対策計画を策定し、持続可能な観光地づくりを目指します。

主な経費

オーバーツーリズム対策計画策定業務委託料 1,050万円

財源内訳

オーバーツーリズム対策事業補助金 525万円
淡路鳴門岬公園開発基金 525万円



大阪・関西万博関連誘客促進事業



担 商工観光課0799-43-5221

24

R6年度事業費 6,083万円
昨年度予算額 0万円

国内外から多くの観光客の来訪が期待されている大阪・関西万博と花みどりフェアに向け、本市への誘客に繋がる魅力あるコンテンツを淡路ファームパーク・イングランドの丘に整備するほか、外国人観光客の受入環境整備を推進する。また、万博会場で淡路島の伝統芸能や産業、食といった魅力をPRするため、島内3市で万博自治体参加催事に参加します。

主な経費

花みどり・万博誘客促進事業負担金 5,000万円
インバウンド受入環境整備補助金 400万円
万博首长連合負担金等 250万円

財源内訳

県支出金 340万円
花みどりフェア推進事業負担金 1,500万円
淡路ファームパークイングランドの丘基金 3,500万円
ふるさとまちづくり基金 743万円



鳴門の渦潮世界遺産登録を推進



担 うずしお世界遺産推進課0799-43-5207

25

R6年度事業費 235万円

昨年度予算額 573万円

世界に誇る鳴門海峡の渦潮について、世界遺産への登録を推進し、人類共通の財産として地域の関心や愛着を高めるとともに、ふるさと資源として保全と活用を行い、地域の活性化に繋げていくため、学術調査や情報発信を行う協議会へ負担金を支出します。

また、令和2年度に友好協定を締結したサルトラウメン海峡の渦潮を有するノルウェー王国のボーダ市と観光や産業面での交流を図ります。

主な経費

兵庫・徳島「鳴門の渦潮」世界遺産登録

推進協議会負担金 80万円

友好都市提携関連経費 63万円

財源内訳

ふるさとまちづくり基金 235万円



大鳴門橋周辺環境整備事業



担 建築技術室0799-43-5252

26

R6年度事業費 13億4,130万円

昨年度予算額 7億630万円

大阪・関西万博を契機に交流人口の増加を図るため、大鳴門橋記念館、笹山駐車場(うずまちテラス)及び道の駅うずしお(みさき荘)等の施設整備を行います。

令和6年度は引き続き道の駅うずしおリニューアル工事を実施します。

主な経費

道の駅うずしおリニューアル工事費 9億7,500万円

水道施設関連整備工事費 1億3,100万円

道の駅うずしお内装等整備負担金 2億円

財源内訳

国庫支出金 3億円

市債(過疎対策事業債) 10億4,130万円



灘黒岩水仙郷管理運営事業



担 建築技術室0799-43-5252
商工観光課0799-43-5221

27

R6年度事業費 1億3,838万円

昨年度予算額 3億9,246万円

観光施設拠点の一つである灘黒岩水仙郷に新たに建物と園路が完成し令和5年度にリニューアルオープンしました。

令和6年度は駐車場の拡張、屋外トイレ施設等の整備を実施し、観光及び地域の活性化を図ります。

主な経費

灘黒岩水仙郷駐車場等整備工事費 1億1,490万円

灘黒岩水仙郷管理運営費 2,150万円

財源内訳

市一般財源 329万円

市債(辺地対策事業債) 1億1,490万円

施設使用料 1,982万円

光熱水費使用料 37万円



商工業団体等への補助



担 商工観光課0799-43-5221

28

R6年度事業費 3,700万円
昨年度予算額 3,567万円

中小企業の健全な育成や地場産業の販路拡大、技術向上を目的に、南あわじ市商工会と淡路瓦工業組合へ補助金を交付します。

主な経費

商工会補助金 3,000万円
地場産業(淡路瓦)ブランド形成支援事業補助金 700万円

財源内訳

市一般財源 3,000万円
ふるさとまちづくり基金 700万円



にぎわいづくり事業



担 商工観光課0799-43-5221

29

R6年度事業費 750万円
昨年度予算額 750万円

市内の観光事業者、商工団体、NPO法人等が主体となって、新たなイベント等で交流人口の増加を目指す「にぎわいづくり」事業に対し補助金を交付します。

主な経費

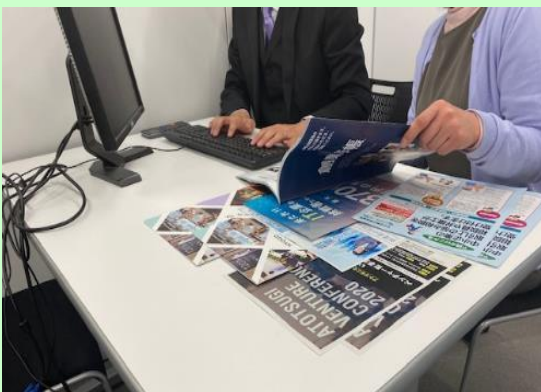
南あわじ市にぎわいづくり事業補助金 750万円

財源内訳

市債(過疎対策事業債) 750万円



産業活力アップ起業支援事業



担 商工観光課0799-43-5221

30

R6年度事業費 6,000万円
昨年度予算額 3,600万円

地域経済の活性化及び雇用の確保を図るため、事務所等開設費や起業後のランニングコストに加え、空き家や空き店舗の取得費用など、起業等に要する費用の一部に補助を行います。

また、兵庫県と協調し、高度IT技術を要する起業家やコワーキングスペースの開設費の一部に補助を行います。

主な経費

産業活力アップ起業支援事業補助金 6,000万円

財源内訳

市一般財源 1,610万円
ふるさとまちづくり基金 4,390万円



ふるさと南あわじ応援寄附金事業の奨励



担 ふるさと創生課0799-43-5205

31

R6年度事業費 11億5,900万円
昨年度予算額 10億4,500万円

ふるさと南あわじ応援寄附金事業を奨励し、本市の魅力ある地場産品や地域資源を全国に発信し、本市のファン・サポーター（関係人口）の増大を図ります。

また、魅力ある返礼品の開発を行い、効果的な広報活動により幅広い年代に南あわじ市の認知度を向上させ、「ふるさと南あわじ応援寄附金」の増加を目指します。

主な経費

寄附金返礼品代 6億4,860万円
返礼品配送代 1億4,260万円
ポータルサイト利用料 2億6,457万円

財源内訳

市一般財源 11億5,900万円



介護・看護人材確保対策事業



担 福祉課0799-43-5216

32

R6年度事業費 790万円
昨年度予算額 1,000万円

介護・看護人材の安定的な確保を図るとともに移住・定住の促進を目的として、社会福祉法人等に就職する介護・看護職員に対して、就労一時金の支給及び家賃の補助を行います。

主な経費

介護・看護職員確保対策補助金 790万円

財源内訳

ふるさとまちづくり基金 790万円



新規就農者育成総合対策事業



担 農林振興課0799-43-5223

33

R6年度事業費 1,960万円
昨年度予算額 2,675万円

新規に就農する際に、経営が不安定な就農初期段階で機械・施設等の導入や資金にかかる支援を行います。

また、認定農業者等の後継者が農業経営を継承し、発展させる取り組みに対して支援を行います。

主な経費

新規就農者育成総合対策事業補助金 1,960万円

財源内訳

県支出金 1,860万円
経営継承・発展事業補助金 50万円
ふるさとまちづくり基金 50万円



水産業就業体験事業



担 水産振興課0799-43-5243

34

R6年度事業費 50万円
昨年度予算額 100万円

漁業への関心の向上と漁業の担い手確保に加えて、漁業経営の多角化と安定化を図るため、体験漁業の実施に向けた支援をおこないます。

主な経費

水産業就業体験事業補助金 50万円

財源内訳

ふるさとまちづくり基金 50万円



地域おこし協力隊推進事業



担 ふるさと創生課0799-43-5205
食の拠点推進課0799-43-5224
水産振興課0799-43-5243

35

R6年度事業費 1,918万円
昨年度予算額 1,671万円

都市部からの意欲ある人材を地域おこし協力隊として受け入れ、地域活性化及び産業振興を図ります。

農業・水産業分野においては、市内の生産者等と協力し、農産物の多品目栽培の推進、未利用魚・低利用魚の消費拡大、新たな販路の開拓に繋がる活動等を行い、地産地消、地元食材のPRIに取り組みます。

また、地域と連携して課題解決を図る「地域密着型」では、阿万地区で住民交流イベントの企画や移住相談業務、伊加利地区でコミュニティセンターを核にした地域活性化に取り組みます。

主な経費

報酬等 1,199万円

活動費等 719万円

財源内訳

市一般財源 1,912万円

住宅使用料 6万円



奨学金等返済支援事業



担 ふるさと創生課0799-43-5205

36

R6年度事業費 1,300万円
昨年度予算額 770万円

地域を支える若者の生活を支援するため、南あわじ市に定住し、奨学金等を返済しながら働く若者に対し、返済金の一部を補助します(1年間:上限24万円 ※最大5年間:上限120万円)。また、市内中小企業の人材確保と若者の市内定着・経済的支援を図るため、兵庫県型奨学金返済支援事業を活用する市内中小企業に対し、企業負担分の1/2、最大3万円を補助します。

主な経費

奨学金等返済支援事業補助金 1,300万円

財源内訳

ふるさとまちづくり基金 1,300万円



ECサイト管理運営事業



担 ふるさと創生課0799-43-5205

37

R6年度事業費 300万円
昨年度予算額 310万円

市の特産物のPRと販路拡大を目的として、ECサイト「南あわじマルシェ」の運営を行います。

ふるさと納税特設サイトと連携し、返礼品と同じ品物を出品するなどにより、新たな寄附者やファンの獲得を図ります。

主な経費

ECサイト商品発送業務委託料 200万円
広告料 70万円

財源内訳

ECサイト販売収入 200万円
ふるさとまちづくり基金 100万円



若者ふるさと応援便事業



担 ふるさと創生課0799-43-5205

38

R6年度事業費 790万円
昨年度予算額 960万円

ふるさと南あわじ市を離れ、将来の夢に向かって頑張っている本市出身の若者へ、ECサイト「南あわじマルシェ」で使えるポイントを付与します。

R6年度は1申請当たりの付与ポイントを5,000ポイントから10,000ポイントへと拡充し、本市とのつながりの継続・拡大を図ります。関係人口の増大や郷土愛を深めるきっかけづくりにつなげます。

主な経費

若者ふるさと応援便発送業務委託料 740万円

財源内訳

ふるさとまちづくり基金 790万円



ふるさと同窓会応援事業



担 ふるさと創生課0799-43-5205

39

R6年度事業費 300万円
昨年度予算額 300万円

市と継続的なつながりを持つ関係人口の増加と、移住定住の促進を図るため、市民と市出身者との交流機会である同窓会経費の一部を補助します。

主な経費

ふるさと同窓会応援事業補助金 300万円

財源内訳

ふるさとまちづくり基金 300万円



空家関連事業

空家確保・活用事業



担 都市政策室0799-43-5227

40

R6年度事業費 2,220万円
昨年度予算額 1,750万円

急増する空き家利用ニーズに的確に対応するため、利活用が見込める空き家を空き家バンクに登録した場合や、改修費用等に対し補助金を交付します。

主な経費

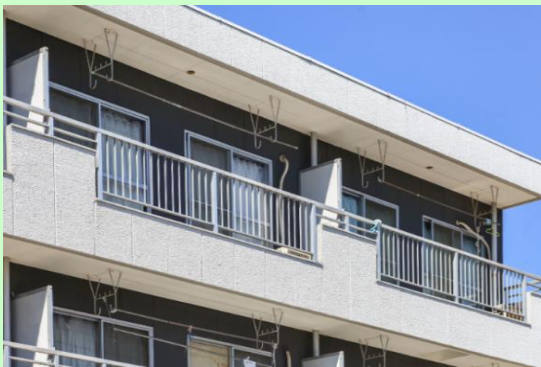
空家確保支援事業補助金 220万円
空家活用支援事業補助金 2,000万円



財源内訳

ふるさとまちづくり基金 2,220万円

空家再生事業



担 ふるさと創生課0799-43-5205
商工観光課0799-43-5221

41

R6年度事業費 2,400万円
昨年度予算額 0万円

移住希望者が市内で住むための住宅を確保するため、空き家を借り上げて転貸(サブリース)事業に取り組む事業者に対し、空き家を再生するための改修費用の一部を補助します(上限200万円/棟)。

また、市内の雇用と定住促進を図るため、流通していない空き家等を有効活用して社宅等を整備する事業者に対し、改修費用の一部を補助します(50万円/戸、2戸以上の場合は10万円/戸を加算し、最大100万円/棟)。

主な経費

空家再生支援事業補助金 2,000万円
社宅改修事業補助金 400万円



財源内訳

市一般財源 400万円
ふるさとまちづくり基金 2,000万円

空家除却事業



担 都市政策室0799-43-5227

42

R6年度事業費 1,172万円
昨年度予算額 1,066万円

空き家等対策の推進のため、倒壊等により周辺へ危害を与える可能性がある建物(老朽危険空家)の除却に対して費用の一部を補助します。なお、老朽危険空家でありながら所有者不明の建物については、周辺への危害回避のため、市が除却工事を実施します。

主な経費

老朽危険空家除却支援事業補助金 932万円
老朽危険空家除却工事費 240万円



財源内訳

市一般財源 353万円
国庫支出金 586万円 / 県支出金 233万円

住生活基本計画策定事業



担 都市政策室0799-43-5227

43

R6年度事業費 770万円

昨年度予算額 0万円

移住・定住促進や空き家対策等、住宅施策を総合的に進めるため、住生活の現状と課題を把握し、住生活基本計画の策定に向けた基礎調査を実施します。

主な経費

住生活基本計画基礎調査業務委託料 770万円

財源内訳

市一般財源 770万円



マイホーム取得事業



担 ふるさと創生課0799-43-5205

44

R6年度事業費 5,000万円

昨年度予算額 5,000万円

島外からの転入者の増加ならびに定住促進を図るため、市内に住宅を建築または購入する方へ住宅取得費用の一部を補助します（新築・建売住宅：上限200万円、中古住宅：上限100万円、中学生以下の加算：1人につき30万円）。

主な経費

マイホーム取得事業補助金 5,000万円

財源内訳

市一般財源 2,106万円

ふるさとまちづくり基金 2,894万円



移住支援事業



担 ふるさと創生課0799-43-5205

45

R6年度事業費 3,160万円

昨年度予算額 1,660万円

島外から市内へ移住(UJIターン)する意思のある人に対して、民間賃貸住宅への居住にかかる初期費用や移住にかかる費用の一部を補助することにより、費用負担の軽減を行い、本市への移住・定住の促進を図ります（おためし居住世帯：上限30万円、移住世帯：上限25万円）。また、移住世帯については、転入より一定期間経過時に奨励金を交付します（1年経過時：5万円、2年経過時：20万円）。

主な経費

移住支援補助金 1,560万円

移住奨励金 1,600万円

財源内訳

ふるさとまちづくり基金 3,160万円



多世代同居・近居支援事業



担 ふるさと創生課0799-43-5205

46

R6年度事業費 3,000万円
昨年度予算額 3,600万円

市内の定住促進、家族の絆の再生や地域における共助を目的として、多世代で同居や近居をする際の住宅取得費またはリフォーム費用の一部を補助します(上限100万円)。

主な経費

多世代同居・近居支援事業補助金 3,000万円

財源内訳

ふるさとまちづくり基金 3,000万円



通勤・通学者交通費助成事業



担 ふるさと創生課0799-43-5205

47

R6年度事業費 1,050万円
昨年度予算額 1,100万円

定住人口維持のため、高速バス等を利用する通勤・通学者へ交通費を助成します。交通費に対する助成額は、通勤者(通勤手当を除く)及び島内通学者は2割、島外通学者3割となります。

主な経費

通勤・通学者交通費助成金 1,050万円

財源内訳

ふるさとまちづくり基金 1,050万円



結婚新生活支援事業



担 ふるさと創生課0799-43-5205

48

R6年度事業費 400万円
昨年度予算額 400万円

婚姻による新生活をスタートするためのインシャルコスト(敷金・礼金、引越費用等)の一部を支援し、経済的負担を軽減することで結婚促進、定住促進を図ります(上限30万円 ※夫婦とも29歳以下の場合:上限60万円)。

主な経費

結婚新生活支援補助金 400万円

財源内訳

国庫支出金 200万円

子ども未来基金 200万円



新婚世帯家賃補助事業



担 心るさと創生課0799-43-5205

49

R6年度事業費 1,260万円
昨年度予算額 1,240万円

定住促進のため、新婚世帯で民間の賃貸住宅に入居している方へ補助金を交付します。補助金の限度額は、家賃に応じて定めており、期間は最長3年間となります(家賃月額3～5万円未満:月額5千円、家賃月額5万以上:月額1万円)。

主な経費

新婚世帯家賃補助金 1,260万円

財源内訳

子ども未来基金 1,260万円



第4章

安全・安心のまちづくり

自主防災組織等の育成



担 危機管理課0799-43-5203

1

R6年度事業費 695万円
昨年度予算額 767万円

地域防災力の向上を図るため、自主防災組織に対し、防災学習会や防災資機材購入等の補助を行います。また、地域防災の担い手育成のため、防災士やひょうご防災リーダーの資格取得にかかる経費の一部を補助します。

主な経費

自主防災組織育成事業補助金 670万円
地域防災リーダー養成補助金 25万円

財源内訳

市一般財源 695万円



防災ジュニアリーダー養成事業



担 学校教育課0799-43-5231

2

R6年度事業費 199万円
昨年度予算額 196万円

阪神淡路大震災や東日本大震災などを踏まえ、児童生徒が自らの命を守る力を身につけさせる従来の安全教育に加え、防災教育授業や学習会を実施するほか、東北の被災地へ児童生徒を派遣し、「防災ジュニアリーダー」を養成します。

主な経費

車借上料 112万円
被災地派遣事業負担金 60万円

財源内訳

学校組合負担金 26万円
学ぶ楽しさ日本一基金 173万円



消防団活動の充実



担 危機管理課0799-43-5203

3

R6年度事業費 5,932万円
昨年度予算額 5,787万円

消防団は地域における消防力・防災力の向上、地域コミュニティの活性化に大きな役割を果たしています。

今後想定される南海トラフ地震への備え、自主防災組織等と連携した日々の訓練や機器の点検、準中型自動車免許等の取得など、多岐にわたる消防団の活動に対して支援を行います。

主な経費

消防団員報酬 3,414万円
出動手当・訓練手当 1,980万円
消防団活動補助金 438万円
車両免許取得補助金 100万円

財源内訳

市一般財源 5,932万円



消防防災体制の充実



担 危機管理課0799-43-5203

4

R6年度事業費 9,660万円

昨年度予算額 1,940万円

老朽化した消防団の消防車両や小型動力ポンプの整備、更新を行います。また、消防屯所や器具庫等の新築・改修等へ補助を行い、消防・防災体制の充実を図ります。

主な経費

消防用備品購入費(車両、ポンプ) 8,910万円

消防設備整備補助金 750万円

財源内訳

市一般財源 750万円

市債(緊急防災・減災事業債) 8,910万円



大規模災害への備え



担 危機管理課0799-43-5203

5

R6年度事業費 1,320万円

昨年度予算額 2,770万円

災害により停電が発生した場合に備えて避難所等にポータブルバッテリーを配備します。

また、避難所の衛生的な生活環境を確保するためマンホールトイレ用の簡易水洗便座を備蓄します。

主な経費

ポータブルバッテリー購入費 1,000万円

災害対策用トイレ等購入費 320万円

財源内訳

市一般財源 20万円

企業版ふるさと南あわじ応援寄附金 1,000万円

安全・安心のまちづくり事業助成金 300万円



排水対策事業



担 建設課0799-43-5226

6

R6年度事業費 1億1,360万円

昨年度予算額 1,000万円

高潮や津波浸水軽減対策として、兵庫県が実施する防潮堤や水門等の整備に伴い、高潮時の雨水を効率よく排水するための内水排水対策を並行して実施します。

令和6年度は福良浜町地区の排水ポンプ設置工事や湊地区ならびに阿那賀地区において内水対策のための現況調査を行います。

主な経費

高潮対策関連工事費 9,600万円

排水対策事業費(湊、阿那賀) 1,760万円

財源内訳

市債(緊急防災・減災事業債) 1億1,360万円



道路橋梁維持事業



担 建設課0799-43-5226

道路新設改良事業



担 建設課0799-43-5226

河川や都市排水路の維持



担 建設課0799-43-5226

7

R6年度事業費 3億7,950万円

(債務負担行為6,250万円含む)

昨年度予算額 3億5,130万円

市内道路について、地区からの要望や著しく舗装の劣化が進んだ路線、通学路等の重点的な修繕を実施します。また、令和4年度に見直しを行った橋梁長寿命化計画を基に、橋梁長寿命化工事を実施します。

主な経費

市内道路等維持修繕工事費 1億6,750万円

橋梁長寿命化工事費 1億4,950万円

財源内訳

市一般財源 6,678万円 / 国庫支出金 7,522万円

市債(公共事業等債) 5,060万円

市債(合併特例事業債) 8,170万円

市債(過疎対策事業債) 4,270万円



8

R6年度事業費 4億6,830万円

昨年度予算額 3億680万円

市民の利便性向上を目的とし、国道、県道等へアクセスする道路の整備や拡幅工事を実施します。

主な経費

測量設計業務委託料 2,200万円

市道新設改良工事費 3億7,950万円

財源内訳

市一般財源 2,335万円 / 国庫支出金 1億6,615万円

市債(公共事業等債) 1億4,950万円

市債(合併特例事業債) 4,830万円

市債(辺地対策事業債) 1,500万円

市債(過疎対策事業債) 6,600万円



9

R6年度事業費 7,000万円

昨年度予算額 7,250万円

堆積土砂撤去等の河川浚渫工事や、河川の護岸修繕・排水路の整備工事を実施し、治水安全性の向上、環境美化を図ります。

主な経費

排水路整備工事費(1か所) 500万円

河川維持工事費(9河川) 4,000万円

河川環境整備工事費(2河川) 1,350万円

河川維持修繕費 1,100万円

財源内訳

市一般財源 2,500万円

県支出金 800万円

市債(緊急浚渫推進事業債) 1,800万円

市債(緊急自然災害防止対策事業債) 1,900万円



通学路の安全・安心

通学路の安全確保



担 建設課0799-43-5226

交通安全啓発事業



担 危機管理課0799-43-5203

交通安全施設等の充実



担 危機管理課0799-43-5203

10

R6年度事業費 4,160万円
昨年度予算額 6,600万円

近年通学時に自動車と子どもの接触事故が多発していることを踏まえ、安全・安心な通学路を確保するために、グリーンベルトの設置・補修及び道路の改良工事を実施します。

主な経費

通学路安全対策工事費 1,060万円
測量設計業務委託料 2,100万円
通学路改良工事費 1,000万円

財源内訳

市一般財源 130万円
学ぶ楽しさ日本一基金 410万円
ふるさとまちづくり基金 650万円
市債(過疎対策事業債) 500万円
市債(合併特例事業債) 2,470万円



11

R6年度事業費 1,251万円
昨年度予算額 1,256万円

交通事故防止を図るため、南あわじ交通安全協会が実施する交通安全啓発および交通事故防止活動に要した経費の一部に対して、補助を行います。また、交通安全巻看板の設置や交通安全啓発活動を実施します。

主な経費

交通安全協会補助金 1,100万円
交通安全巻看板購入費 34万円
交通安全啓発物購入費 27万円

財源内訳

市一般財源 1,231万円
ふるさとまちづくり基金 20万円



12

R6年度事業費 1,802万円
昨年度予算額 1,805万円

交通安全及び防犯対策のため、カーブミラーや防犯灯を整備します。また、破損したカーブミラーの修繕や防犯灯の電球・器具の交換など既存設備の修繕も行います。

主な経費

市所有防犯灯の電気代 1,068万円
防犯灯及びカーブミラー設置、修繕、材料費 734万円

財源内訳

市一般財源 1,672万円
ふるさとまちづくり基金 130万円



道路除草や側溝清掃への助成



担 建設課0799-43-5226

13

R6年度事業費 1,000万円
昨年度予算額 1,000万円

地域の良好な道路環境等の維持を目指し、地域住民が自ら行う市道の除草、側溝清掃に対し、助成金を交付します。

主な経費

道路除草側溝清掃助成金 1,000万円

財源内訳

ふるさとまちづくり基金 1,000万円



漁港施設改修事業



担 水産振興課0799-43-5243

14

R6年度事業費 5,560万円
昨年度予算額 2,800万円

灘漁港や阿那賀漁港等において、老朽化により機能の低下が確認された施設について修繕工事を実施し、漁港機能の維持と漁業従事者の安全確保を図ります。

また、仁頃漁港における漁業活動の利便性を維持するため、新たに機能保全計画を策定し、漁港施設の計画的な維持管理を図ります。

主な経費

漁港施設機能保全計画策定業務委託料 1,900万円

灘漁港機能保全工事 1,960万円

漁港漁場整備事業補助金 1,210万円

財源内訳

県支出金 1,930万円

市債(過疎対策事業債) 3,630万円



防犯対策事業



担 危機管理課0799-43-5203

15

R6年度事業費 260万円
昨年度予算額 220万円

地域の見守り力向上を図るため、自治会等の地域団体が行う防犯カメラ設置に要した経費の一部を補助します。

また、固定電話を用いた特殊詐欺等による被害の未然防止を図るため、自動録音電話機等の購入経費の一部を補助します。

主な経費

防犯カメラ設置補助金 180万円

自動録音電話機等設置補助金 80万円

財源内訳

市一般財源 90万円

県支出金 170万円



ごみ減量化促進事業



コンポスト 電動生ごみ処理機

担 環境課0799-43-5214

16

R6年度事業費 153万円
昨年度予算額 295万円

ごみ減量化の取り組みとして、電動生ごみ処理機の無料リース、電動生ごみ処理機・コンポスト設置に対する助成を実施します。

主な経費

電動生ごみ処理機借上料 33万円
ごみ減量化機器設置補助金 120万円

財源内訳

市一般財源 153万円



EV公用車導入事業



担 財務課0799-43-5210

17

R6年度事業費 384万円
昨年度予算額 1,154万円

災害時の電力供給源として電気自動車を導入し、公用車のクリーンエネルギー化、また地球温暖化対策の取り組みとして温室効果ガスの排出削減を図ります。

主な経費

車借上料 104万円
公用車購入費 280万円

財源内訳

市一般財源 129万円
クリーンエネルギー自動車導入促進補助金 45万円
市債(脱炭素化推進事業債) 210万円



住宅改修事業



担 都市政策室0799-43-5227

18

R6年度事業費 1億210万円
昨年度予算額 0万円

5年ごとに市営住宅の状況を把握し、優良住宅の長寿命化を計画的に実施するために長寿命化計画の改定を行います。

老朽化した市営湊団地の予防保全的な修繕及び機能の更新を行うための実施設計を行います。

主な経費

長寿命化計画改定業務 1,200万円
湊団地A棟改修工事設計業務 1,360万円

財源内訳

国庫支出金 1,280万円
市債(公営住宅建設事業債) 8,930万円



第5章

「対話と行動の行政」の 実現によるまちづくり

協働のまちづくり



担 市民協働課0799-43-5244

1

R6年度事業費 1億8,387万円
昨年度予算額 1億5,932万円

まちづくりをみんなで支え合う体制づくりを目指し、市民(地域)と行政との協働を適正に行うための仕組みを地域とともに創造します。21地区の地域づくり協議会が実施する地域づくり事業に対し、地域づくり事業交付金による財政支援を行います。また、地域コミュニティの拠点である「市民交流センター」を運営し、住民主体の地域づくりに向けた支援を行うとともに、市役所窓口サービスの補完等を行います。

主な経費

地域づくり事業交付金(基礎事業) 1,500万円
" (地域協働事業) 24万円
市民交流センター長等報酬 1億6,608万円

財源内訳

市一般財源 1億8,169万円
基金利子(地域振興基金) 118万円
県支出金 50万円/ふるさとまちづくり基金 50万円



地域コミュニティの支援



担 市民協働課 0799-43-5244

2

R6年度事業費 3,818万円
昨年度予算額 4,153万円

住民福祉の向上及び行政施策の推進等の活動をしている連合自治会への補助や自治功労者の表彰、自治会集会所の新築・改修工事及びケーブルテレビ視聴料金に対する助成を行います。

また、令和3年度に実施した自治会実態調査の結果を踏まえ、組織力強化に向けて、自治会加入促進の取り組みに対する補助金支援や運営支援ハンドブックを活用した地域での話し合い支援等を行います。

主な経費

自治会活動補助金 1,817万円
集会所改修補助金 720万円
自治会加入促進事業補助金 200万円

財源内訳

基金利子(地域振興基金) 2,148万円
コミュニティ助成事業補助金 750万円
ふるさとまちづくり基金 920万円



地域づくりチャレンジ事業への補助



担 市民協働課0799-43-5244

3

R6年度事業費 618万円
昨年度予算額 1,022万円

地域が抱える課題解決に向けて具体的に取り組む事業に対して、行政がサポート役となり実現を後押しします。

市民交流センター及び市民協働課が地域と行政の繋ぎ役となり、事業者、地域、行政が互いの強みを活かした対処方法を、対話を行いながら考えていきます。また、話し合いから行動に移す際に必要となる事業立ち上げ時の経費に対して補助を行います。

主な経費

地域づくりチャレンジ補助金 600万円
地域づくりチャレンジ事業外部審査員謝礼 18万円

財源内訳

市一般財源 18万円
ふるさとまちづくり基金 600万円



地域の担い手づくり事業



担 市民協働課0799-43-5244

4

R6年度事業費 400万円

昨年度予算額 400万円

地域の担い手不足の課題に対して、若者層の地域活動参加を促進することで新たな担い手を確保することを目的とし、市内の若者・青年層グループが、地域づくり協議会と連携し実施する地域づくり事業に対して補助金支援を行います。

主な経費

地域の担い手づくり事業補助金 400万円

財源内訳

県支出金 140万円

ふるさとまちづくり基金 260万円



スマホ利活用支援事業



担 広報情報課0799-43-5206

5

R6年度事業費 650万円

昨年度予算額 650万円

デジタル時代の利便性を享受できる社会の実現に向けスマホの利活用を支援するため、スマホ相談窓口を市役所庁舎に設置します。また、各地区公民館に出張相談窓口を設置します。

主な経費

スマホ利活用支援業務委託料 650万円

財源内訳

ふるさとまちづくり基金 650万円



広報紙・ホームページ等による情報発信



担 広報情報課0799-43-5201

6

R6年度事業費 1,890万円

昨年度予算額 1,423万円

市政情報や各種お知らせ、地域の話題を発信する「広報南あわじ」は読み手が興味を持って手に取ってもらえる表紙づくり、市民を中心に取り上げる特集ページの充実など、広報を読むことが習慣化するような魅力的な紙面づくりに取り組みます。また、ホームページやSNSを積極的に活用し、市内外の幅広い層に向けて市の魅力や話題を届けます。

市勢全般を紹介する市勢要覧を作成し、市の魅力発信強化に取り組みます。

主な経費

広報南あわじ印刷製本・折込料 1,139万円

市勢要覧作成業務委託料 500万円

ホームページ保守管理委託料 131万円

財源内訳

市一般財源 1,747万円

広告掲載料等 143万円



マイナンバーカード普及促進事業



担 総合窓口センター0799-43-5212

7

R6年度事業費 2,300万円
 昨年度予算額 4,000万円

各医療機関や施設、事業所への出張申請や、様々な理由により申請が困難な人への戸別訪問による申請支援を実施します。個人の状況に寄り添った申請環境を構築し提供することで、マイナンバーカードの更なる普及を目指します。

主な経費

マイナンバーカード普及啓発員人件費 1,800万円

財源内訳

国庫支出金 2,300万円



シティプロモーション推進事業



担 広報情報課0799-43-5201

8

R6年度事業費 1,910万円
 昨年度予算額 1,267万円

令和3年度から開始した本事業は、令和5年度に発足した南あわじプロモーション室が中心となって担当し、「人づくり」、「接点づくり」、「仕組み・基盤づくり」を軸に実施しています。

発信情報の量と質の向上を図るとともに、広報活動の分析・検証も実施し、効果的かつ効率的な情報発信体制の構築を図ります。

主な経費

ホームページ更新委託料 450万円
 プレスリリース関連経費 150万円
 広報効果分析ツール使用料 148万円
 SNS機能拡充業務委託料 100万円
 広報人材育成講師手数料 100万円

財源内訳

市一般財源 900万円
 ふるさとまちづくり基金 1,010万円



【参考】物価高騰対策事業

令和5年度2月補正に事業費を計上し、令和6年度に一部または全額を繰越して物価高騰対策に取り組みます。
(各事業の事業費は令和5年度2月補正に予算計上した明許繰越費の金額)

I 安全・安心確保の取り組み

《生活の安全安心の確保》

1

住民税非課税世帯等重点支援給付事業

住民税均等割のみ課税世帯に対して10万円/世帯を支給します。
住民税非課税世帯及び均等割のみ課税世帯の18歳以下の子ども1人に対して5万円/人を支給します。

主な経費

住民税非課税世帯等重点支援給付 6,190万円

事業費 1億4,290万円

財源内訳

国庫支出金 1億4,290万円

担 福祉課0799-43-5216

2

生活応援給付事業

物価高騰の影響下で住民税所得割97,000円未満の世帯に対して生活応援として2万円を給付します。

主な経費

生活応援給付 1億200万円

事業費 1億200万円

財源内訳

市一般財源 8,200万円

国庫支出金 2,000万円

担 福祉課0799-43-5216

3

障害・介護施設物価高騰支援事業

障害者施設、介護施設へ物価高騰対策として一時金を支給します。

主な経費

障害者福祉施設物価高騰支援補助金 410万円

事業費 410万円

財源内訳

国庫支出金 410万円

担 福祉課0799-43-5216

長寿・保険課0799-43-5217

4

子育て世帯等生活応援給付事業

子育て世帯等（18歳以下の子ども、ひとり親世帯、障害児、妊婦）に対して生活応援として、1万円を支給します。

主な経費

子育て世帯等生活応援給付 620万円

事業費 620万円

財源内訳

国庫支出金 620万円

担 子育てゆめるん課0799-43-5219

5

保育施設地場食材活用事業

給食に地場産食材を活用し、市内生産者を支援します。また、地場産食材を用いることにより食育の推進と郷土愛の醸成を図ります。

主な事業費

保育施設地場食材活用事業補助金 250万円

事業費 250万円

財源内訳

国庫支出金 250万円

担 子育てゆめるん課0799-43-5219

6

保育施設・幼児教育施設給食費負担抑制事業

物価高騰による食材料費高騰に伴う給食費負担の増額を抑制します。

主な事業費

賄材料費 820万円

事業費 820万円

財源内訳

国庫支出金 820万円

担 子育てゆめるん課0799-43-5219

7

学校給食費負担抑制事業

物価高騰による食材料費高騰に伴う給食費負担の増額を抑制します。

主な事業費

学校給食費負担軽減補助金 2,270万円

事業費 2,270万円**財源内訳**

市一般財源 160万円
国庫支出金 2,110万円

担 学校教育課0799-43-5231

8

学校給食地場産食材活用事業

給食に地場産食材を活用し、市内生産者を支援します。また、地場産食材を用いることにより食育の推進と郷土愛の醸成を図ります。

主な事業費

学校給食地場産食材活用事業補助金 750万円

事業費 750万円**財源内訳**

国庫支出金 750万円

担 学校教育課0799-43-5231

Ⅱ 社会経済基盤強化の取り組み

《事業者の活動支援》

9

地域営農効率化支援事業

地域計画等に位置付けた経営体に対し、エネルギー効率化や省力化に資する機械導入を支援します。

主な経費

地域営農効率化支援事業補助金 1,500万円

事業費 1,500万円**財源内訳**

国庫支出金 1,500万円

担 農林振興課0799-43-5223

10

国産飼料生産利用拡大推進事業

国産飼料を増産するため、生産体制の構築に係る経費を支援します。

主な経費

国産飼料生産利用拡大推進事業補助金 100万円

事業費 100万円**財源内訳**

国庫支出金 100万円

担 農林振興課0799-43-5223

11

酪農経営支援事業

飼料高騰により物価高の影響を大きく受けている酪農家に対し、経営の継続及び安定化を図るため一時金を支給します。

主な経費

酪農経営支援補助金 720万円

事業費 720万円**財源内訳**

国庫支出金 720万円

担 農林振興課0799-43-5223

12

和牛農家経営支援事業

飼料高騰により物価高の影響を大きく受けている和牛農家に対し、経営の継続及び安定化を図るため一時金を支給します。

主な経費

和牛農家経営支援補助金 950万円

事業費 950万円**財源内訳**

国庫支出金 950万円

担 農林振興課0799-43-5223